

# 愛媛県石鎚山系生物多様性保全推進協議会 平成31年度（令和元年度）事業計画

石鎚国定公園や笹ヶ峰自然環境保全地域など生物多様性上重要な地域である石鎚山系において、ニホンジカ（以下「シカ」という。）から希少野生植物等を保全し、次代につないでいくため、平成30年度に策定した「石鎚山系生物多様性保全計画（以下「保全計画」という。）」に基づき、次のとおり事業を実施する。

## 1 協議会運営事業

○各種実施事業の実績、効果等を評価するとともに、次年度以降の事業等の検討・計画、収支予算・決算を決定するための協議会総会を開催する。

- ・協議会総会 年2回  
（5月 第1回総会）  
（3月 第2回総会）

## 2 石鎚山系における希少野生植物等保全事業【各部会事業】

### （1）植生等調査事業【植生等調査部会】

○植物リストの作成

- ・植物相調査  
（笹ヶ峰、寒風山、瓶ヶ森、石鎚山、堂ヶ森各周辺の5コース）
- ・文献調査、標本調査

○希少植物分布状況等の把握

- ・現地踏査による希少植物分布調査
- ・現地踏査による石鎚山系（下～中腹）樹林地帯の衰退状況調査

○シカの植生への影響調査

- ・現況調査（シカによる採食や下層植生の状況等調査（笹ヶ峰、寒風山、岩黒山、西ノ冠岳））
- ・シカ侵入調査（侵入経路の高縄、面河側カメラ設置）
- ・ハザードマップ（保護が必要と考えられる植物・群落を抽出し、保護の優先度をつけて地図上に表示したもの）の作成

○ブナ林調査

- ・衰弱兆候がみられているブナの分布、現状確認、目視調査

○保全計画の検証

- ・愛媛県石鎚山系生物多様性保全計画検討委員会（有識者会議）による、事業実施状況の検証。

○植生等調査報告書まとめ

- ・平成30年度、31年度に実施した調査内容を報告書にまとめる。

(2) 人材育成事業【人材育成部会】

○植生被害状況等モニタリング実施体制の構築

- ・石鎚山系の植生とシカの生態等についての座学（2回）
- ・モニタリングの基礎知識を得るための勉強会（1回）

○シカ目撃情報等の収集・管理体制の構築

- ・モニタリングマニュアルを活用した現地ワークショップ
- ・石鎚山系の自然がシカによって改変された場合の程度把握や復元のための定点撮影

< 予定時期 > 10月・12月 （2回）

(3) 普及啓発事業【普及啓発部会】

シカによる植生被害等の問題と生物多様性保全の関係を正しく認識、普及啓発するとともに、地域での取組意識の醸成を図る。

○シンポジウムの開催

< 予定日 > 2020年2月15日（土）

< 予定会場 > 愛媛県生涯学習センター 県民小劇場（ホール）

○普及啓発パンフレット作成、配布

○出前講座等の開催

(4) 防護事業【保全計画専門部会（仮称）】

平成30年度に策定した「石鎚山系生物多様性保全計画」に基づき実施。

○防鹿ネット（樹皮剥ぎ防止ネット）等の設置、修繕

< 予定場所 > 笹ヶ峰周辺